

島根県担い手育成協定制度について

第1 目的

県と新規自営就農者の育成に理解のある農業経営体、市町村等関係機関が相互に連携・協力し、農業経営体で研修（雇用研修を含む。以下同じ。）した後に自営就農することを志向する者（以下「自営就農志向者」という。）に対して、農業経営者となるために必要な研修の実施等の支援を行うことにより、中核的な経営体（販売額1,000万円以上の経営体）となる認定新規就農者の確保・育成を図る。

第2 担い手育成協定の締結

第1の目的を達成するために、県、農業経営体及び市町村等関係機関は島根県の次代を担う農業経営者育成協定書（別紙様式第1号）による協定（以下「担い手育成協定」という。）を締結するものとする。

第3 協定経営体の要件

担い手育成協定を締結する農業経営体（代表者の取り決めや構成員の役割、資金管理の方法等を規約等により明確に規定する複数の農家等で構成される団体を含む。以下「協定経営体」という。）は、自営就農志向者が円滑に独立自営就農するために必要な研修を実施する、以下の要件を満たすものとする。

- （1）年間を通じて農業を行っていること。
- （2）自営就農志向者に対する研修を行う体制を整備していること。
- （3）原則として過去に農業研修生の受入実績があること。
- （4）概ね1,200時間/年以上の研修が実施できること。
- （5）原則2年に1人以上の自営就農者の育成を目標とすること。

第4 協定経営体の手続き

- 1 協定経営体は、担い手育成協定の締結時に自営就農者育成計画（別紙様式第2号）を作成し、隠岐支庁農林水産局、東部農林水産振興センター又は西部農林水産振興センター（以下「センター等」という。）を経由して知事へ提出するとともに、当該計画を市町村等関係機関と共有するものとする。
- 2 協定経営体は、自営就農志向者の研修を受け入れようとする場合は、市町村等関係機関と連携・協力の上、育成計画（別紙様式第3号）を作成し、センター等を経由して知事へ提出するとともに、当該計画を市町村等関係機関と共有するものとする。
- 3 協定経営体は、自営就農志向者が研修終了後、就農した際には、就農報告（別紙様式第4号）を作成し、センター等を経由して知事へ提出するとともに、当該報告を市町村等関係機関と共有するものとする。

第5 関係機関によるサポート

県、市町村、JA等の関係機関は、協定経営体と連携・協力し、それぞれの立場から、自営就農に向けた研修段階から就農後の経営確立段階に至るまで積極的なサポートを実施す

るものとする。なお、就農までの間、関係機関は、少なくとも半年に1回は自営就農志向者及び協定経営体と研修状況や就農準備状況等について研修状況チェックリスト（別紙様式第5－1号及び別紙様式第5－2号）を使って面談を行い、必要な指導及び助言を行うことを基本とする。

第6 その他

- 1 本制度の運用に際して得る個人情報については、別紙様式第3号別添により適切に取り扱うものとする。
- 2 その他制度の運用に必要な事項については、農林水産部長又は農業経営課長が別に定める。

島根県の次代を担う農業経営者育成協定書

島根県（以下「甲」という。）、（市町村等）（以下「乙」という。）及び（協定経営体）（以下「丙」という。）とは、島根県の次代を担う農業経営者の確保・育成について次のとおり連携協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲、乙及び丙が相互に協力して、それぞれの資源を有効に活用し、将来自営就農し中核的な経営体を目指す者に対して、農業経営者として必要な研修等を行い、独立・自営就農させることにより島根県の次代を担う農業経営者の確保・育成を図ることを目的とする。

（協力事項）

第2条 甲、乙及び丙は、前条の目的を達成するため、相互に情報及び意見の交換に努め農業経営者の育成について連携して取り組むものとする。

（個別の協議）

第3条 甲、乙及び丙は、本協定に基づき、農業経営者の育成について連携して実施することに合意した場合は、育成する経営者数の目標、研修期間、研修方法等について協議の上、別途取り決めるものとする。

（その他）

第4条 本協定に定めのない事項又はこの協定に定める事項に関し疑義等が生じた場合は、甲、乙及び丙で協議して定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲、乙及び丙それぞれ記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 島根県松江市殿町1番地
島根県知事 丸山 達也

乙（市町村等）

丙（協定経営体）

(別紙様式第2号)

自営就農者育成計画

年 月 日

協定経営体名：

1 求める人材

【研修受入可能時期 年 月 受入数 人】

2 処遇等

給与 ※雇用の場合	円/月	給与 ※雇用の場合	円/年
社会保険 ※雇用の場合			
休日等			
研修(勤務)地			

3 育成ビジョン(育成にあたっての考え方、独立時・独立後の支援など)

【育成期間 年】

4 研修内容

部門名		所在地	
作目（規模）	（ ）	研修期間	年間
指導担当者	（指導歴 ）		
研修概要			

※研修概要は、将来の自営就農に当たり栽培から経営に必要な技能・知識が習得できる内容としてください。

※研修の年間スケジュールなど別紙での提出もできます。

5 育成目標人数 人／年

6 研修生（自営就農志向者）リスト（随時更新）

氏名	経営作目	就農予定地	就農時期

育成計画

協定経営体名：

1 研修生（自営就農志向者）

氏名	
住所	
生年月日	
電話番号	
メールアドレス	

2 自営就農への考え

--

3 自営就農に係る計画

就農希望地	就農予定時期	年 月 (未定)
就農形態	<input type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始 <input type="checkbox"/> 親の農業経営を継承 [<input type="checkbox"/> 全体、 <input type="checkbox"/> 一部] <input type="checkbox"/> 親元就農 [<input type="checkbox"/> 親の経営の全体を継承、 <input type="checkbox"/> 法人の（共同）経営 経営継承（法人の場合は経営者となる） 年 月]	

4 自営就農を具体化するために必要なこと

(課題、自営就農時期を明確にするために必要なこと等)

--

5 自営就農に向け行う研修内容

(1) 協定経営体での研修等

※研修区分は、経営戦略（経営理念、事業計画）、栽培技術、経営管理（会計、労務、マーケティング等）、資金調達等（区分は必要に応じて改廃）に関して、時期、研修方法等を記載する

研修区分	時期	研修時間	具体的な研修方法、（目指す達成水準）等を記載

(2) 協定経営体以外での研修等

※研修区分は、経営戦略（経営理念、事業計画）、栽培技術、経営管理（会計、労務、マーケティング等）、資金調達等（区分は必要に応じて改廃）に関して、時期、研修方法等を記載する

研修区分	時期	研修時間	具体的な研修方法、（目指す達成水準）等を記載

本育成計画に基づき、自営就農を目指します。 自営就農志向者氏名

本育成計画に基づき、自営就農を支援します。 協定経営体指導者氏名

個人情報の取扱いに関する同意書

以下の個人情報の取扱いについてよくお読みになり、その内容に同意する場合は「個人情報の取扱いについての同意」欄に署名・押印をしてください。

島根県担い手育成協定制度の運用に係る個人情報の取扱いについて

島根県（以下「県」という。）は、島根県担い手育成協定制度の運用に際して得た個人情報について、島根県個人情報保護条例等の規定に基づき適切に管理し、本事業の実施のために利用します。また、県は、本事業による研修生の研修状況や就農状況の確認等のフォローアップ活動、本事業に関連する補助金申請内容の確認、国等への報告等で利用するほか、本事業等の実施のために、提出される書類の記載事項について、データベースに登録したり、必要最小限度内において関係機関へ提供したり、又は確認したりする場合があります。

関係機関	国、都道府県、市町村、都道府県青年農業者等育成センター、農業大学校等研修教育機関（島根県立農林大学校を含む。）、（一社）全国農業会議所、（一社）都道府県農業会議、県内の地域農業再生協議会又は農業担い手育成総合支援協議会、島根県農業協同組合、（公財）しまね農業振興公社、（公財）ふるさと島根定住財団
------	--

個人情報の取扱いについての同意

上記に記載された内容について同意します。

年 月 日

（協定経営体）住所

氏名

印

（自営就農志向者）住所

氏名

印

就農報告

協定経営体名：

1 就農者

氏名	
住所	
生年月日	
メールアドレス	
研修期間	年 月 日 ~ 年 月 日

2 就農の概要

就農地		就農日	年 月 日
就農形態	<input type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に新たな部門を開始 <input type="checkbox"/> 親の農業経営を継承 [<input type="checkbox"/> 全体、 <input type="checkbox"/> 一部] <input type="checkbox"/> 雇用就農 <input type="checkbox"/> 親元就農 [<input type="checkbox"/> 親の経営の全体を継承、 <input type="checkbox"/> 法人の（共同）経営 経営継承（法人の場合は経営者となる）予定時期 年 月]		
耕地面積 (a)	所有地		
	借入地		
営農作物			

3 就農にあたって行った支援と継続して行う支援の具体的な内容

(栽培技術面、経営面、販路の提供、農地・施設の提供、機械の貸借、先輩農家との交流等)
--

研修状況確認チェックリスト(協定経営体用)

作成機関：名称

代表者

(自営就農志向者氏名：)

1 研修取組状況 (協定経営体側から見た自営就農志向者の技術等習得レベルを評価)

a 研修への積極性について	積極的である・普通・消極的である
b 情報収集について(勉強会への参加、質問・相談の状況等)	積極的である・普通・消極的である
c 指導者等関係者の助言・指導への対応について	聞き入れている・概ね聞き入れている・聞き入れない

2 技術の習得状況 (協定経営体側から見た自営就農志向者の技術等習得レベルを評価)

レベル { 5:ほぼ完全に理解している 4:概ね(8割程度)理解している 3:普通(5割程度)
2:やや理解が劣る(3割程度) 1:理解していない 0:まだ習っていない }

a 栽培管理等の技術・知識の習得状況について	今後の課題
作物名	5・4・3・2・1・0
作物名	5・4・3・2・1・0

b 機械・施設等の操作方法・整備・安全対策について	今後の課題
機械(施設)名	5・4・3・2・1・0
機械(施設)名	5・4・3・2・1・0
機械(施設)名	5・4・3・2・1・0

c 農業経営等に関する知識の習得状況について	今後の課題
販売促進の考え方	5・4・3・2・1・0
流通・マーケティングの基礎	5・4・3・2・1・0
帳簿の付け方	5・4・3・2・1・0
財務諸表の読み方	5・4・3・2・1・0
労務管理の知識	5・4・3・2・1・0

3 就農に向けた準備状況 (協定経営体側から見た自営就農志向者の取り組みを評価)

a 就農に向けた情報収集について	積極的	普通	消極的	
b 経営に関する計画の作成状況	積極的	普通	消極的	
c 資金の準備について	積極的	普通	消極的	
d 農地の確保について	積極的	普通	消極的	
e 人・農地プランへの位置づけについて	積極的	普通	消極的	

4 研修指導者の自営就農志向者に対する所見

{ }

5 書類確認用

(1) 出席状況

a 概ね年間1,200時間以上の研修を受けているか	受けている(見込みがある)・受けていない(見込みがない)
b 研修への出席(参加)状況	出席(参加)率= %

(2) 研修時間及び休憩時間 ※書類で確認できない場合は自営就農志向者に聞き取りをして記入

a 研修時間は原則1日8時間を超えていないか	超過なし・繁忙期のみ超過・恒常的に超過
b 休憩時間は適切か(6時間超45分以上、8時間超1時間以上途中に付与)	付与あり・付与なし
c 休日は適切か(毎週1日以上又は4週間4日以上の日)	付与あり・付与なし

確認日： 年 月 日 / 確認者：(所属)

(氏名)

総合所見

{ }

研修状況確認チェックリスト(自営就農志向者用)

自営就農志向者：氏名

(研修開始 年 月 / No)

1 研修に対する取組状況

a 研修への積極性について	積極的に取り組んでいる・ほぼ取り組んでいる・消極的である
b 情報収集について(勉強会への参加、質問・相談の状況等)	積極的に収集している・収集している・収集していない
c 指導者等関係者の助言・指導への対応について	よく聞き実践している・聞き入れるが実践できていない・聞き入れない

2 技術の習得状況

a 栽培管理等の技術・知識の習得状況について	4:研修内容を十分に理解し1人で作業できる	今後の課題
	3:研修内容を理解し、1人で作業できるものの品質等は劣る	
	2:研修内容は概ね理解しているものの指導を受けながらでないと作業できない	
	1:研修内容を理解していなくて作業できない	
	0:まだ習っていない	
作物名	4・3・2・1・0	
作物名	4・3・2・1・0	

b 機械・施設等の操作方法・整備・安全対策について	4:研修内容を十分に理解し1人で適切に操作できる	今後の課題
	3:研修内容を理解し、確認しながらであれば1人で操作できる	
	2:研修内容は概ね理解しているものの指導を受けながらでないと操作できない	
	1:研修内容を理解していなくて操作できない	
	0:まだ習っていない	
機械(施設)名	4・3・2・1・0	
機械(施設)名	4・3・2・1・0	
機械(施設)名	4・3・2・1・0	

c 農業経営に関する知識の習得状況について	4:理解している	今後の課題
	3:一部分からないところがある	
	2:分からないことの方が多い	
	1:ほとんど分からない	
	0:まだ習っていない	
販売促進の考え方	4・3・2・1・0	
流通・マーケティングの基礎	4・3・2・1・0	
帳簿の付け方	4・3・2・1・0	
財務諸表の読み方	4・3・2・1・0	
労務管理に関する知識	4・3・2・1・0	

3 就農に向けた準備状況

a 就農に向けた情報収集について	既に開始している・開始していない
b 経営に関する計画の作成状況	作成済み・作成中・情報収集中・まだ着手していない
c 初期投資等の資金の確保について	確保済み・見込みは立っている 準備を始めたが、見込みは立っていない・まだ着手していない
d 農地の確保について	確保済み・交渉中・情報収集中・まだ着手していない
e 人・農地プラへの位置づけについて	位置づけられている・位置づけられる見込みである 話し合い中である・相談中・まだ働きかけをしていない

確認日： 年 月 日 / 確認者：(所属)

(氏名)

所見